



HIROSHIMA UNIVERSITY

広島大学先端科学セミナー

“ゲノム編集”で 未来社会を拓く



ゲノム編集は、食糧問題、エネルギー問題や病気の治療など人類の問題を解決するまさに夢の技術です。

ゲノム編集技術の“今”と“未来”について、広島大学の研究者があなたの知りたいに答えます。

全4回のセミナーです（1回のみ参加も可能）。

開催形式

ウェブセミナー

※ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナー

※お申込み完了後、開催前日までに参加用URLをご連絡いたします

参加費
無料

第2回

2021年 9月 9日 木 18:30~19:30

演題

GONAD法を用いた
簡便ゲノム編集マウス・ラット作製法

講師

松山 誠

(重井医学研究所 分子遺伝部門 部長)



概要

ゲノム編集の登場により、遺伝子改変が困難であった生物においても遺伝子改変が容易になりました。しかし哺乳類は胎生であるためゲノム編集を行うには、非常に高度かつ専門的な技術が必要とされました。しかし私たちは、受精卵を体内から取り出すことなくゲノム編集する技術GONAD法を開発しました。本講演では、GONAD法を用いた遺伝子改変マウス・ラットの作製法および、この作製法を利用した新規疾患モデルラットについて紹介します。

お申込み

2021年9月7日（火）までに申込みフォーム

(<https://forms.gle/Q11HQePdPaZpGRgcA>) に必要事項をご入力ください。

※受講者数に限りがございますので、申込多数の場合は先着順とさせていただきます。

<お問い合わせ>

広島大学教育室コラボレーションオフィス

TEL 082-424-4676 MAIL leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp

<共催> COI-NEXTバイオDX産学共創拠点



ゲノム編集先端人材育成プログラム

The Frontier Development Program for Genome Editing

HP

<https://genome.hiroshima-u.ac.jp/>

申込みフォーム
アクセスコード